

1. 札幌市まちづくり戦略ビジョン（今後10年間のまちづくりの指針）

第1章 戦略戦略 第2節 産業・活力

創造戦略6 産業人材創造戦略

【10年度の目指すべき姿】

- ・札幌・北海道の将来を担う創造性豊かな人材が育ち、誰もが活躍できる環境が整っています。
- ・さらに、女性や高齢者を始めとした市民一人一人が力を発揮し、多様化する社会課題の解決や持続可能な経済成長が実現されています。

2. 札幌市産業振興ビジョン（総合的な中小企業振興の方向性）

第3章 札幌市経済を支える中小企業の経営革新と経営基盤の強化

2 多様な人材の確保と育成

- ・札幌市は、有効求人倍率が全国平均、北海道平均に比べて低い。また、特に若年層では、地元で働きたいと考えても、経済環境が厳しい中で働き口がなく、道外に流出しているなど労働力人口が減少している。今後は、若年層を安心して確保・育成することができる活力ある中小企業を育てることが必要。 ※有効求人倍率：国:0.97 道:0.80 市:0.74 H25.12

3. 人材確保の取組

①職業相談・紹介事業の充実

ハローワーク及び民間職業紹介事業者との連携による「札幌市就業サポートセンター（北）」を中心に市内全10区において職業相談・職業紹介事業を実施。「ジョブガイド（清田、西）」、「あいワーク（中央、東、白石、厚別、豊平、南、手稲）」。

※職業相談窓口における就職者数6,540人（H25見込み）

②若年層への就職支援

◆フレッシュスタート塾事業（新規）【H26予算案：59,800千円】

既卒1年目の新卒未就職者を対象に、1か月間のOFF-JT（座学研修）を通じて、研修生に就職に必要な能力を身に付けさせ、研修生と職場実習受入企業とのマッチングを行い、2か月間のOJT（職場実習）を通じて早期の正社員就職を支援

《5月》  
OFF-JT(座学研修)  
1か月間

OJT(職場実習)  
2か月間

マ研修生と企業との  
マッチングの  
成り立ち  
就職(正規雇用)

◆企業向け若年層雇用安定助成金事業【H26予算案：43,400千円】

【活用実績】

25歳～34歳の若年層求職者の雇用安定を図るため、中小企業等が当該求職者を常用雇用した場合、助成金を支給  
交付対象：重点4分野に該当し、25歳～34歳の求職者を常用雇用した事業者

23年度	24年度	25年度見込	26年度目標
25人	98人	110人	200人

交付人数：200人分 交付金額：1人当たり20万円

③正社員・フルタイムを目指した就職支援

◆Skipさっぽろ【H26予算案：46,439千円】

【就職者数】

重点4分野への就業を促進するため、資格取得や職場実習を通して就職を支援

23年度	24年度	25年度見込	26年度目標
128人	201人	175人	192人

※介護職員初任者研修など全39種類

④企業と求職者のマッチング支援

◆中小企業雇用情報発信事業【H26予算案：983千円】

市内の採用意欲のある中小企業と求職者とのマッチングを促進するため、インターネット上で企業情報を発信

ホームページアクセス件数：18,587件 平成25年12月末  
掲載求人件数（述べ）：819件  
掲載企業数（実数）：194社



4. 人材育成の取組

①経営・創業に関する人材育成

◆中小企業経営セミナー等事業【H26予算案：10,091千円】

- ①市内中小企業者に対し、6次化や販路拡大など、中小企業が直面する課題等をテーマにした実用的なセミナーを実施
- ②創業を目指す者に対して、テーマ別の創業セミナーや少人数制の専門的な連続講座を実施

②製造業・建設業の人材育成

◆ものづくり産業人材育成支援事業【H26予算案：4,000千円】

- ・事業内研修や外部研修機関への従業員派遣等の事業に対して補助を行う  
⇒市内小中学生を対象にしたものづくり企業への職業体験の実施を検討中
- ・建設業向けには、職業訓練団体への補助や、学生・若年求職者に建築・土木技術を紹介するセミナーを実施（工業振興事業費）

③IT・コンテンツ産業の人材育成

◆IT利活用ビジネス拡大事業【H26予算案：18,455千円】

プレゼンテーションスキルや業界研究の手法等、営業に必要なスキルを身に付けるために必要な実践的な研修を実施など

◆コンテンツ人材育成事業【H26予算案：15,186千円】

映像制作環境を提供する「デジタル工房」の設置や、若手映像監督やシナリオライター等による札幌の場所とそこにまつわるエピソードを素材とした札幌オリジナルのコンテンツ制作など

5. 論点

人材育成・確保（雇用）に関する実情や市の支援策についてご意見をいただきたい